

日本大学東北高等学校同窓会会報

桜 OUDA 采

 NIHON UNIV. TOHOKU DOUSOU
日本大学 SINCE 1957

第18号



野球場上空よりドローンにて撮影(2019.9.2)。手前が工事中の集会ホール基礎工事の様子。写真提供：今泉雅文氏(22期普通科卒、(株)フイテック東北代表)

発行日/2020年8月1日

発行/日本大学東北高等学校同窓会
郡山市田村町徳定字中河原1

<http://www.nichidai-tohoku-dousoukai.com>

編集/日本大学東北高等学校同窓会桜采編集部



初めて生徒を迎えようとしている新校舎。4月6日(月)

※昇降口と駐輪場は令和2年度中の完成予定。

会長あいさつ

コロナを乗り越えて

日本大学東北高等学校
同窓会会長
16期生 村山 廣嗣



同窓生の皆様ご無沙汰いたしております。今年も桜朶を発行させていただくことになりました。今年はコロナウイルス禍の中で、取材や写真、インタビューなど不安と対峙しての発行となりました。編集委員の高橋敏行先生の強い思いと事務局の先生方のご尽力により、無事発行することができましたことを、心より感謝申し上げます。桜朶は先輩方の熱い思いと母校愛により昭和32年に創刊され、第7号まで発刊されました。その後担当される方々の諸事情などからしばらく発行は中止されておりましたが、平成22年7月、実に32年ぶりに故柳沼正人会長の号令のもとに第8号が復刊し現在に至っております。柳沼先輩にただ感謝するばかりです。

さて新型コロナウイルスですが、皆様も日々苦勞されていることと思います。これは中国の武漢に始まり、今や全世界に蔓延し、私たちの生活を脅かし続けています。これまでの生活が一変しています。まずは三密を避け、マスクをつける。そしてよく手を洗うということぐらいしか凡人の私には思いつきませんが、このような時だからこそ、どのよう

に対処すべきか智慧を出し合わなければなりません。

特に母校の生徒のみなさんが感染しないかを懸念しております。感染予防のため3月の卒業式は保護者の列席はなく、各教室で放送により挙行されました。また4月の入学式も生徒だけの参加でしたが、その模様は新校舎の最新ネット中継により各教室に配信されたのは幸いでした。そのような状況を鑑み、生徒諸君の感染に対する不安やストレス、また各種活動の制約の軽減に役立てていただく趣旨で、本会より7月11日に非接触型赤外線式体温測定器20台を学校に寄贈させて頂きました。

今後とも母校の生徒のみなさんに寄り添った同窓会でありたいと願っております。会員各位の変わらぬご協力とご支援をお願い申し上げます。

追伸：昨年の「台風19号水害」において母校も甚大な被害を受け、同窓会の貴重な資料のほとんどが水没し、破棄せざるをえない状態になりました。もし可能であれば、お手元の高校時代の貴重なアルバムや写真・資料等のご提供をお願いいたします。今後は各種資料のデジタル化を進めてまいります。何卒ご協力ください。

新校舎竣工は生徒用昇降口の工事を残すのみとなったと伺いました。同窓生の皆様におかれましては健康に留意していただき、ぜひ一度新しくなった母校に足を運んで頂きますようお願い申し上げます。

学校長あいさつ

同窓会の皆様へ

学校長 佐々木 稔



同窓会の皆様におかれましては、ますますご盛栄のことと存じ喜び申し上げます。また平素より母校の発展に心からのご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は4月1日付人事により、南尊雄校長先生の後任として、千葉県にあります日本大学習志野高等学校(教頭)から異動着任をいたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。

着任早々、新型コロナウイルスに係る緊急事態宣言発令に伴い、4月17日から1か月余の臨時休校を余儀なくされましたが、6月1日から通常の授業形態となり、部活動も6月8日から全ての部で再開、校内に「学校らしさ」と活気が戻ってまいりました。今後も感染リスクを可能な限り低減させる施策をとりながら、学校運営を継続してまいります。

さて本校は、1951年、日本大学東北工業高等学校として創設されて以来、昭和・平成・令和の3時代70年にも及ぶ歴史を刻み、日本大学建学の精神に基づく、自主創造の気風を兼ね備えた、忠恕の心を持つ人の育成に努めてきました。この間3万6千名を超える卒業生を輩出し、

日大東北のゆるぎない伝統を築きあげてきました。

しかしながら、校舎の老朽化は否めず、また工業男子校から出発した校舎では、女子生徒の増加に対応したものではなく、新校舎の完成が喫緊の課題となっております。

令和2年春、待望の新校舎が完成しました。開放的な廊下や階段、清潔なトイレ、最新の設備を持つ特別教室や図書室・自習室など、高等学校の校舎としては他校には類を見ない、すばらしい施設です。さらに6月には400人規模を収容できる、集会ホールがオープンし、学びのための最高の環境が整いました。

同窓会の皆様にも、ぜひこの校舎をお披露目したいところではございますが、コロナ禍ゆえ、今しばらくお待ちをいただき、母校を応援していただければ幸いです。

惜しまれつつも、皆様が学ばれた旧校舎は解体工事が進み、それに代わって新校舎の全姿が新幹線の車窓からも見るできるようになりました。建物は変われども、母校を思う気持ちは、すべての同窓生に脈々と引き継がれていくことでしょう。今後も我々教職員は心一つにし、生徒の夢の実現のために力を尽くします。

結びに、同窓会の皆様方ますますのご多幸とご発展を心からお祈り申し上げますとともに、今後とも本校への変わらぬご支援を、心よりお願い申し上げます。

アカシヤ祭の思い出

普通科2組 昭和53年卒 第25期生
嶋 栄吉



この思い出は、若い孫のような世代の母校後輩たちにバトンを繋ぐエール(応援)です。私は昨年還暦を迎えました。年を重ねるにつれて昔の記憶が薄れていく中、今でも燦然と輝く高校時代のまぶしい思い出が消失する前に、備忘録として書かせていただきました。

私は中学生時代、将来の進路先と目標が曖昧で受験科目への興味も少なく、その対策も不足していました。その結果、地元県立高校への進学に失敗し、悔しい挫折感だけが残りました。しかし、浪人することなく総合大学である日大の様々な学部学科に進学実績のある私立の日大東北高校に入学出来たことは、私にとって幸運でした。

その後の私の人生の好機となったからです。級友たちは県内の各地から来ていましたが、その多くは私と同様に県立受験での心の傷を抱えていました。そのような仲間たちと過ごした日々の中で、特に印象深いアカシヤ祭について触れたいと思います。



アカシヤ祭パンフ

【映画『高校生日記』作成の経緯】

高校3年の時、私がクラス幹事(学級委員長)に、副幹事(学級副委員長)には、猪口敬史君・加羽沢啓一君の2名、計3名が選出されました。その年は、2年に1度の文化祭(アカシヤ祭)開催の年でした。生徒会からクラスへの出展の要請がありましたが、私たちのクラスは「音楽コンサート」、「お化け屋敷」などの様々な案が出て、意見がまとまりませんでした。そこで、担任の小松先生の助言を得て、苦肉の策として「普3-2空想の世界」というテーマをアカシヤ祭プログラム締切り直前に提出しました。実はこの時点では具体的な内容は何も決まっていなかったのです。

その後市内で歯科医をしている級友の家から、当時としては大変貴重で珍しい8mmフィルムの映画カメラを借りることができ、担任の先生と出向いて使用方法を教えてください。クラスの出展が急遽「映画作成・上映」と決定したのです。

【夏休み返上で制作に没頭した日々】

映画は級友のある一日を記録したもので、タイトルは、『高校生日記』としました。シナリオの骨子をつくり、それにクラス全員がアイデアを出し合って完成させました。朝の永盛駅での電車通学や・自転車通学にはじまり、各教科の先生の所作を級友が真似た模擬授業風景(化学の郡司一弘先生・数学の小松基扶先生・物理の野口哲先生ら)、試験の様子(カンニング作戦:あくまでシナリオ!)、昼食



アカシヤ祭映画タイトル

(いわゆる早弁)風景、掃除と下校風景に至るまでを約30分に再現しました。もちろん文化祭用に脚色した部分もあります。現在のようにドローンなどない時代ですから、上空からの撮影はできません。トイレットペーパーを使用したタイトル撮影のために、特別に屋上への出入りを許可してもらったことは今では良い思い出です。開催日(上映当日)まで約一ヶ月間、クラス全員で協力し、放課後と土日の休みも返上し真剣に撮影に没頭しました。写真屋でフィルムを現像し、全てのフィルムを時系列に並べ替え、1コマごと順番に目視確認した後、専用のテープで繋ぎ合わせるという気の遠くなる手作業が続きました。そして遂に、文化祭上映前日に『上映用ロール状フィルム』が完成しました。

当時の人気アニメの主題歌やキャンディーズ、ビートルズのヒット曲などを選曲し、音声とBGMは分けて録音し、編集映像に合わせてカセットテープで再生したのです。教室での試写会は好評でした。もちろん当日の評判も上々で、盛会のうちに終了しました。会場入口に設置したアンケートにはそれを裏づける書き込みが多くありました。その中に某県立女子高校生名とともに「日工(当時は日大東北工業高校)もやればできる。素晴らしいよ〜!」とありました。私はその時、嬉しさよりも悔しさを感じたことを憶えています。なぜなら、それが上からのメッセージのように感じたからです。「人生は、県立高入試で決まるのでは無く、その後で勝負したい」と、私は生意気にも当時そんな風に考えていました。69名全員が出演し、一致団結して作成した映画に私たちは大いに満足し、高揚感と達成感を満喫しました。



アカシヤ祭の映画上映の会場の案内版の前で

ところで、私は卒業後東京への憧れから、担任の先生の推薦をいただき日本大学農獣医学部(現生物資源学部)に進学しました。その後東京大学大学院農学研究科(修士課程)を経て2001年より北里大学獣医学部で約30年間教鞭を執りました。母校での仲間や恩師との出会がなければ、これまでの私の人生はありません。ですから、私は恩師や友人との出会いに感謝しており、母校が誇りで自慢です。

近年毎年実施されている恒例のアカシヤ祭が、今年はコロナ禍により中止となったと伺いました。とても残念です。しかし、きっと次に開催されるアカシヤ祭のために備えてください。一度しかない高校時代の思い出として、キラキラと輝く自分たちの思い出を存分に作ってほしいと思います。

実は私は病気で職場を早期退職せざるを得ませんでした。ですから、母校の皆さんには『健康第一に、そして着実に歩むこと!』という言葉を贈ります。これが私からの「エール」です。『高校生日記』の中の69名は、今も色あせることなく輝き続けています。



新校舎風景



3F
Iコース教室(3年生)
音楽室
家庭科室
美術室
書道室ほか

4F
IIコース教室(全学年)
生物実験室
物理実験室
化学実験室
情報室ほか

1F
Iコース教室(1年生)
集会ホールほか

2F
Iコース教室(2年生)
自習室
アクティブラーニング
スタジオ
図書室ほか



<エントランス大階段>

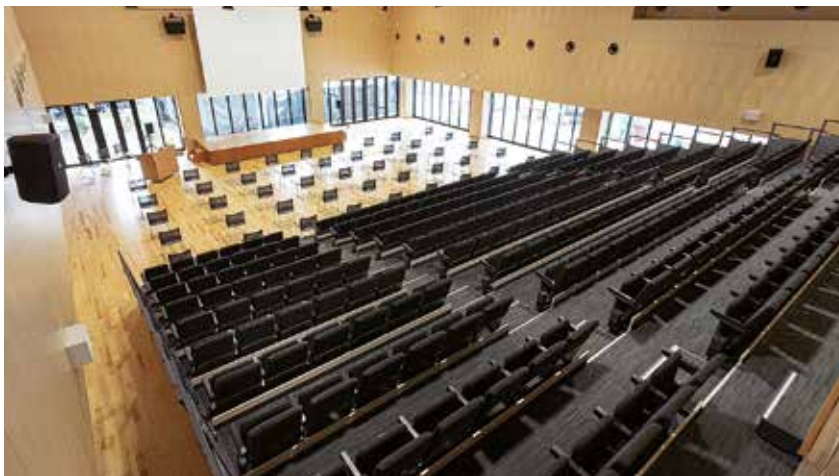


<教室>



<音楽室>





<アクティブラーニングスタジオ>

<集会ホール>



<図書室>

<自学室>



Googleストリートビューにて、校舎の一部をご覧いただけます。

令和元年度 母校の行事



入学式



体育大会



修学旅行



アカシヤ祭



台風19号後の清掃活動



新校舎上棟式



第70次生徒会役員



各教室で行われた卒業式

※黒板アート

令和元年度 卒業生合格状況

令和元年度卒業生総数434名

※延べ人数

日本大学 221名 国公立大学 32名 他私立大学 216名 専門学校 52名 就職 3名

◆ 日本大学

法	17	商	14	危機管理	3	生産工	12	生物資源科	20	短期大	2
文理	16	芸術	4	スポーツ科	3	工	75	薬	5		
経済	10	国際関係	9	理工	32						

◆ 国公立大学

秋田大学	1	東北大学	2	信州大学	1	会津大学	2	高崎経済大学	3
山形大学	3	埼玉大学	1	青森公立大学	2	福島県立医科大学	1	長野大学	1
福島大学	5	新潟大学	2	宮城大学	1	新潟県立大学	2	茨城大学	1

◆ 私立大学

中央大学	4	同志社大学	2	専修大学	4	順天堂大学	2	東北学院大学	7
東京理科大学	4	成蹊大学	1	早稲田大学	1	玉川大学	5	東北福祉大学	7
明治大学	3	東京薬科大学	1	明治学院大学	7	国学院大学	1	新潟医療福祉大学	6
津田塾大学	2	駒澤大学	1	駿河台大学	3	国際医療福祉大学	16	北海道医療大学	1

※詳細は学校HPをご覧ください。 ほか

三世代賞

令和元年度は、青木友香さん、下山田海羽さん、関有稀さん、鈴木勇希さん、鈴木桃夏さん、早川佳奈さん、渡辺菜月さんの7名が受賞。受賞者には三世代の名前の入った記念の楯と記念品として置き時計が贈られました。平成30年度までに49名の受賞があり、今回の7名を合わせると計56名の受賞となっています。



※「三世代賞」は、卒業する生徒ご本人・ご父母様・祖父・祖母様の三世代に亘る母校愛に敬意を表すもので、平成15年度に設けられました。

令和元年度 退職された先生

※敬称略



南 尊雄【校長・理科】
勤務期間：平成30年4月1日～令和2年3月31日
勤続年数：2年



野口 哲【理科】
勤務期間：昭和51年4月1日～令和2年3月31日
勤続年数：44年



柴田 広【理科】
勤務期間：昭和53年4月1日～令和2年3月31日
勤続年数：42年



三浦 誠【保健体育科】
勤務期間：昭和54年4月1日～令和2年3月31日
勤続年数：41年



吉田 美幸【数学科】
勤務期間：平成19年4月1日～令和2年3月31日
勤続年数：13年



伊藤 章【地歴公民科】
勤務期間：平成23年4月1日～令和2年3月31日
勤続年数：8年8か月



柴田 真幸【国語科】
勤務期間：平成24年4月1日～令和2年3月31日
勤続年数：7年



高野 亜里【国語科】
勤務期間：平成27年4月1日～令和2年3月31日
勤続年数：5年



小久保美里【数学科】
勤務期間：平成29年4月1日～令和2年3月31日
勤続年数：3年



佐々木宏樹【保健体育科】
勤務期間：平成30年4月1日～令和2年3月31日
勤続年数：2年



加谷ひろみ【数学科】
勤務期間：平成30年10月1日～令和2年3月31日
勤続年数：1年6か月



渡邊 美和【事務課】
勤務期間：平成29年4月3日～令和2年3月31日
勤続年数：3年

令和元年度 アカシヤ会学業努力賞授与



磯上 航希 (1組)	梅津 花音 (2組)
長田 蒼希 (3組)	圓谷 舞雪 (4組)
斎藤 由菜 (4組)	横田 真也 (5組)
吉田 悠斗 (5組)	小室 友哉 (6組)
佐藤 凜 (8組)	佐久間玲旺 (12組)

令和元年度 アカシヤ会スポーツ・文化功労賞授与



岩崎 幹大 (1組)	後藤聡一郎 (1組)	門馬雅孔莉 (1組)
神尾 真帆 (1組)	高山 理乃 (1組)	野崎 菜優 (1組)
渡邊 航基 (2組)	増子 優美 (2組)	金森 一慶 (3組)
網藤 未来 (3組)	吉原 詩音 (4組)	我妻 曉汰 (5組)
高橋 眞斗 (5組)	佐藤 幸也 (6組)	石井 文雅 (6組)
遠藤 歩香 (7組)	星 櫻子 (7組)	増子未菜美 (8組)
宗像 英美 (8組)	石本裕太郎 (9組)	志賀由伎弘 (9組)
根本 詩恩 (9組)	佐藤 剛哉 (11組)	佐久間玲旺 (12組)



受章おめでとうございます



瑞宝単光章

昭和52年卒 24期 電気科2組

深町 洋一 氏

1977年(昭和52年)に陸上自衛隊に入り、北海道帯広市の第五旅団を中心に活躍する。東日本大震災時は、宮城県石巻市で任務に当たる。「受章は大変ありがたいです。自分を成長させてくれた先輩に心より感謝します。」と語る。

白鳥久美子さん来校

白鳥久美子さん20年ぶりに母校訪問(47期卒)

白鳥さんは、人気タレント「たんぽぽ」の芸名で全国を股にかけて芸人の一人として活躍中である。

そんな彼女が今年4月のはじめコロナウイルスに感染。保健所の指示で2週間の治療を余儀なくされ、「赤べこ」に祈りながら過ごした。その間、高校時代の先輩や友人から多くの励ましと支援を受け、母校での絆の大切さを実感したという。

自分の原点であるふるさと郡山と、母校日大東北に元気とパワーを届けるため、コロナから復活した最初の仕事として母校を訪ねてくれた。

6月23日(火) 恩師伊東伸泰教諭が待っていた「エントランス大階段」を下から見上げて、まるで「宝塚の舞台階段」のようだと思える。新校舎の行く先々では感嘆の声を漏らす白鳥さん。最も驚いたのは、ある教室での化学の授業。彼女の突然の乱入に、生徒たちが驚いたのは言うまでもない。

しかし、なんとその授業を担当していたのが高校演劇愛好会時代の後輩横山あずさ先生(48期卒)だと分かった。「あなた、こんな所で何してんの?」と思わず声を荒げる。実はあずさ先生は、当時白鳥さんと二人でコンビを組み、同級生の照明担当(現在もプロとして活躍中)と数名の助っ人達とで圧倒的なパフォーマンスを演じて優勝した相棒である。それだけに、後輩が母校の教員として活躍している姿に感慨もひとしお。

女子の制服バリエーションの多さを羨ましがったり、また「女子が少ないから絶対モテル!」と思って入学したのに、男子からは「ティラノサウルスって言われたのよ~!!」と得意の話術で笑いをとったりして、高校時代を懐かしんだ。

放課後は完成したばかりの集会ホールで、演劇愛好会の後輩たちとご対面。かつての活動をふり返りながら、「パワー演劇」の真髄を伝授した。圧巻は下校時間を告げる校内放送。放送室を占拠した白鳥さんからの「サプライズ放送」に、教室に残って勉強していたあちこちの生徒たちからは歓声が響き渡った。

「昔の教室はなくなりましたが、新校舎を見られて、自分の思い出が硬いダイヤモンドのようになった感じがして、いい経験をさせてもらいました。自分の原点ここにあり。高校って大事だなんて思いました。ありがとうございました。」と母校訪問を締めくくった。

※白鳥さんの母校訪問により、多くの生徒がパワーをもらっていました。ありがとうございました。白鳥さんの今後益々のご活躍をお祈りいたします。この内容は7月2日(木) 15:45~16:40 KFB福島放送『福島まるとライブ ヨジデス』の中で約20分間の拡大版で放送されました。また、毎週月曜日の新コーナーでレギュラー出演も決定しました!



●赤べこに祈り



●阿武隈川側土手沿いを歩く



●大階段全景



●教室突入サプライズ



●後輩とのご対面



●高校時代のあだ名は…



●演劇愛好会の後輩たちへ伝授



●放送室よりサプライズ!



●恩師 伊東伸泰先生(35期卒)と

支部だより

南達会設立20周年記念式典開催

令和元年8月24日(土)午後7時より本宮市内のホテル「ネーブルシティもとみやaube」にて、南達支部設立20周年記念が開催された。根本昭吉副会長の会の宣言が告げられ、まず物故者OBに対する黙祷が捧げられた。その後、参加者全員で校歌斉唱。20年間の歩みと称するそれまでの活動報告の紹介の後、安齋佳二会長より「多くの先輩方の苦勞と会員相互の協力により現在まで会の活動が存続されてきた。今後は若い世代にそのバトンを引き継ぎ、より活性化を図りながら会を発展させていきたい。」との挨拶があった。

来賓として駆けつけた村山 廣嗣会長より祝辞、また当日公務出張のため南尊雄校長に代わり高橋敏行副会長よりお祝いのことばと学校の現況(特に新校舎建設進捗状況など)が報告された。

懇親会ではプロのマジシャン松山天成氏の、ハトが飛び出すマジックや1万円札が増えるマジックショーがあり、会場は笑いと笑顔に包まれた。当日の参加者は歴代の会長をはじめ新旧の会員30名。



令和元年8月24日 於:ネーブルシティもとみやaube

2020夏季高校野球聖光学院戦惜敗

7月23日(木)第1試合、福島市信夫ヶ丘球場に試合開始を告げるサイレンが響き渡る。エースの佐藤、継投の伊藤・湯田も好投をみせ、両者拮抗した緊迫するインニングが続く。8回表の守備、2アウト1、3塁の場面。ショートゴロでアウトと思われたがセーフとなり、その間に1点先取される。9回の裏逆転を狙う粘りを見せるが、1点に涙を飲んだ。6月1日の練習再開から、選手たちの合意により3年(22名)だけのスタメンに変更したという。

息詰まる試合を展開した選手たちに心からの拍手を贈りたい。(編集部)



自分たちの力を出し切り晴れ晴れとした表情の3年選手たち

福島2020夏季高等学校野球大会
大会予定および結果はこちらから

日大東北高校野球部 OB会



野球部OB会HP

退職教職員の会

3月に開かれた三役会にて、コロナウイルス感染予防のため、例年5月第2土曜日に開催していた定例総会を中止に決定。今年は新たに4名の会員(野口哲先生、柴田広先生、三浦誠先生、南尊雄先生)が入会された。会員は現在37名。11月の昼食懇談会は、開催予定で現在検討中とのこと。編集部の問い合わせに対して小山田正宏先生(会長)より回答があった。

新生バスケットボール部始動

昨年の台風19号被害による記念体育館改修工事や新型コロナウイルス感染拡大防止における活動自粛を乗り越え、現在チーム一丸となって活動しております。また、今年4月から本校バスケットボールOB会の全面的な支援の下、バスケ部の寮「ブルハウス」の経営が始まり、県南地区外や県外の有望な選手が入学しました。台風被害による悲しみや新型コロナウイルスによる大会中止への悔しさを胸に、ウィンターカップ出場に向けて頑張っていきたいと思っております。

(小川貴之 57期卒 体育科教諭)



バスケ部寮生写真



バスケ部集合写真

部活動OB会

柔道部OB会 新年会



令和2年度の柔友協会定例新年会が1月3日(金)ビューホテルアネックスにて開催された。参加者は30名。

バドミントン部 新年会



令和2年1月3日(金)ビューホテルにて新年会が開催された。会長は、國分仁一郎氏

昭和35年卒 7期生 電気科1組 佐藤 友洋氏

電気科(電力)卒業6名が横浜でミニクラス会を開催。半世紀以上の歳月が経過したが再会を果たした。外見・体形は変わったが当時のまま元気いっぱい、近況報告・思い出話等で昔を思い起こし、懇親を深め多めに盛り上がった。会食後は、横浜山下公園を散策し久々に楽しい時間を過ごし、次の再会を約束した。

*昭和35年電気科1組卒業連絡先・遠藤秀 080-6008-6762 (ご一報お待ちしております) ・遠藤道 090-2449-8485



昭和53年卒 25期生 普通科2組 嶋 栄吉氏

～小松基扶先生の喜寿と還暦祝賀を兼ねたクラス会開催～

母校卒業後三回目のクラス会を開催するため、私たちは3年前から『小松先生の喜寿と還暦祝賀を兼ねたクラス会』を企画し、同時に会報誌「桜朶」を通しての級友の連絡先調査も開始しました。

今回のクラス会は、地元在住の穴沢静雄氏と近藤勇人氏の二人が代表幹事として全ての企画運営を担当してくれました。まずこの場を借りて感謝の意を表します。

さて、2組の卒業生は69名ですが、当日都合で参加できない者を除き、計27名の参加者が名乗り出てくれました。小松先生への記念品と母校への寄付金応募の賛同を得て、令和元年9月15日に開催しました。この日は午前



還暦クラス会 校旗前での記念撮影



有志から母校への寄付



都市計画道路笹川大善寺線の開通記念式典から駆けつけた合唱部のサプライズ演奏に聞き入る参加者



平成29年卒 65期生 成人のつどい

令和2年1月11日(土)午後7時よりビューホテルにて「第65期生の成人の集い」が開催された。当日駆けつけた卒業生は約40名。代表幹事(2組の山家真侑さんと4組の金澤佑香さん)によれば、各クラスでミニクラス会を企画していたが、できれば成人の日を前にみんなで一緒にお祝いしたいとの声が多かったことから、急遽開催にこぎつけたとのこと。LINEやSNSのできる限り声をかけたが至らない点も多くあり、次はより多くの方々に参加してもらえよう企画したいと述べた。

昭和40年卒 12期生 20年ぶりのクラス会開催

令和元年12月2日(月)郡山駅ビル2階「香穂里」にてミニクラス会が開催された。参加者は発起人の鈴木盛雄氏と、吉田廣幸氏、渡辺志郎氏、須田修一氏(挨拶のみ)の3名と担任の阿部雄一先生。平成11年4月に郡山ビューホテルアネックスで開催した阿部先生のご退職お祝い以来、実に20年ぶり。青森、東京、千葉、茨城、福島県内各市町村から計23名が駆けつけた話で盛り上がった。高校時代の担任と生徒にタイムスリップしたように、会場は終始明るい笑い声に包まれていた。(編集部)



中に安積国造神社での合同祈禱後、同級生が経営する安積町の中華料理店で昼食をとり、午後小松先生と交流して母校(アカシヤ館)を訪問しました。

合唱部によるサプライズ校歌の歓迎を受け、『母校の歩み』(動画)を視聴しました。校旗の前で小松先生を囲み記念の写真撮影。また、解体直前の懐かしい教室を見学し、現役の先生方と意見交換する時間を持つことができました。幹事が準備してくれた祝いの紅白饅頭をお土産に頂き、先生と相互の健康、そして次回再会を祈念し散会しました。

夕方、有志のみ宿泊懇親会場である磐梯熱海温泉へ移動し、在学中の文化祭(アカシヤ祭)に出展するため作成した映画『高校生日記』の複写DVDを視聴し、一時だけ気持ちが高校生に戻りました。欠席の同期生からは会津の銘酒の差入れがあり、懇親会は盛会のうちに終了しました。

お祝いに駆けつけた4組担任の高橋敏行先生と6組担任の早田宗弘先生より祝辞と祝歌があった。



返信はがき掲載希望コメント

榎本(田母神)忠氏(建設科:昭和31年卒業 現住所:東京都)

「桜朶」第17号をお送り頂き有難度うございました。特に「歩む道を決定付けた我が母校」を読みまして、非常に心うたれました(S44卒業者)私は第3期生で1.2.3年生が揃った年であり、今も懐かしく思っております。あの当時は兵舎をそのまま教室として使いましたので、明るさが少し足りなかった様に記憶しております。

話は違いますが、私高校野球を楽しみにしております。今年も福島県代表決定戦で聖光学院に2対0で敗れまして、悔しい思いです。来年はきっと代表にと心から祈願しております。

菊地敏郎氏(電気科:昭和33年卒業 現住所:東京都)

役員の皆様、ご苦労さまです。いつも「会報」楽しみにしています。母校の発展や近況を知ることができます。私も高齢者(81歳)になり、健康増進のため50年続けています弓道(5段)を修練しています。また2002年3月に40年間勤務した法政大学(事務局)を役員定年機に退職し、同11月に菊地行政書士事務所を開業しました。特に「相続・遺言書作成」を中心に市民の相談を行っています。なお同窓会の方々には無料で相談を行っています。お気軽に下記にご連絡下さい。 電話/FAX 042-323-6332 携帯 090-9975-0365

東條(高橋)仁氏(普通科科:昭和47年卒業 現住所:福島県)

昭和52年福島県刑務所法務事務官(刑務官)を拝命し、福島刑務所いわきし拘置支所、郡山拘置支所と転勤し、最後は郡山拘置氏所支所の法務事務官副看守長で退職し、平成28年4月29日、瑞宝単光章を与えられ大変光栄でございます。今思えば、刑務官人生を支えてくれた家族、同僚、上司のおかげで任務を全うできたと感謝しております。

本会から母校へ非接触型体温計寄贈

母校生徒の健康と円滑な教育活動に役立てて

新型コロナウイルスによる学校での教育活動が制限される中、生徒や教職員の健康管理と円滑な教育活動に役立ててほしいとして、本会から非接触型体温計(遠赤外線DT-9826)20個が贈られた。

贈呈式は7月6日(月)午後1時新校舎1階校長室にて行われた。関係者が集う中、本会(アカシヤ会)村山 廣嗣会長より佐々木稔校長へ、また副会長の高橋敏行教諭から生徒会長の村松龍之介君に直接手渡された。

村山会長は「コロナで日々大変だと思うが、生徒の健康安全に役立てば」と話し、村松生徒会会長は「部活動などで大切にに使わせていただきます」と謝辞を述べた。



贈呈された非接触型赤外線体温計



宗像昭一氏(電気科:昭和52年卒業 現住所:福島県)

私は、卒業後併設の日本大学工学部に進学し、昭和56年3月卒業し、社会人となり、神奈川県に4年半住んでいました。その後地元に戻り仕事を続け、昨年9月末で定年延長が終わり、10月より再雇用で同じ会社で仕事を続けています。高校から始めたクラリネットは今休んでいますが、混声合唱で歌っています。もう26年目になりました。高校から携わった音楽は、46年目です。まだまだ、がんばります。いつも会報ありがとうございます。

添田浩一氏(機械科:平成11年卒業 現住所:福島県)

会報ありがとうございます。新校舎完成おめでとうございます。私は卒業して20年になりました。今年、引越越し、子供の入学と忙しい年でした。台風19号の時は、大変な思いをしたのを今も覚えています。来年はいよいよ40代になります。平成11年卒業のどなたでもいいので、同級会をしたいです。よろしく願いいたします。

お悔やみ 心よりご冥福をお祈り申し上げます。

鈴木 三成 先生

機械科 昭和31年卒 3期生

令和元年9月27日 享年81歳

●皆さんの近況をお知らせください。
クラス会の呼び掛けや近況報告を会報に掲載することができます。

※会報に掲載を希望する方は、に印をしてください。 掲載希望
に印がない場合は掲載をいたしません。

Blank area for writing comments, with horizontal dashed lines for text entry.

※本用紙に記入された個人情報は会報・案内等を送付する際に使用します。今後継続して、事務局からの案内の送付を希望されない方は、下記の印を付して返送もしくはホームページよりご連絡ください。

会報・案内の送付を希望しない。



桜采編集部よりお知らせ

★学校に関する資料提供のおねがい

昨年の台風19号により学校保存の多くの貴重な資料が水没してしまいました。そこで、みなさんのお手元にある日大東北高校(日大東北工業高校を含む)のアルバムや生徒会発行の「渦流」および「生徒会新聞」、帽子の校章や襟章(バッジ)、その他学校に関するすべてのものをお貸しいただければ幸いです。嚴重に保管し、データとして保存した後に返却いたします。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

★次回の桜采19号(2021年夏発行予定)の原稿を募集します。

- ① 高校時代の思い出600~1000字程度。
 - ② 現況報告は裏表紙の郵便はがきで「掲載希望」にチェックを入れ投函して下さい。
- ※詳しくは桜采編集部まで。

☎024-956-8852 (高橋 敏行)

編集後記

◆昨秋、台風19号の水害直後に相模鉄道アカシヤ会支部の橋本公三さんが、TVニュースでお隣の帝京安積高校が水没している様子を見て「何かお手伝いすることはなか」と急ぎ駆けつけて下さった。橋本さんは『時空に翔(かけ)る、夢』(文芸社)を自費出版している。文庫本の帯には「東日本大震災を忘れない!目の前の愛する人に触れられないもどかしさ……。引き裂かれた恋人同士の不思議な3年間のストーリー。」の文字。コロナ禍の現在にも通じる。

◆今年春、福島県が生んだ大作曲家・古関裕而氏の誕生110周年を記念し『エール』(NHK朝ドラ)が放送開始。TVから聞こえる福島訛りに元気と勇気を得ている卒業生は多いことと思います。◆桜采18号もなんとか発行に漕ぎ着けました。惜しみないご支援とご協力くださった多くの方々へ心より感謝申し上げます。誌面の関係上割愛せざるを得なかった記事もあります。お許しください。

福島県内外で奮闘活躍する皆さんのご健康をお祈りし、本誌を通して『エール』を贈らせていただきます。(編集部)

《同窓会のHP(ホームページ)について》

同窓会のHPでは、「住所変更」や「お問い合わせ」が可能です。

さらに会報誌「桜采OUDA」1号~17号のバックナンバーもご覧いただけます。<http://www.nichidai-tohoku-dousoukai.com>

郵便はがき

9 6 3 1 1 9 0

料金受取人払

郡山局承認

1247

郡山市田村町徳定字中河原 1

日本大学東北高等学校

同窓会 行

差出有効期限
令和4年7月31日迄
です。切手をはらず
にお出ください。



現住所	〒		都道府県	
TEL	携帯			
氏名	生年月日	男・女		
卒業年	※いずれかに○をつけてください。 建設・機械・電気・工業化学 普通・土木・建築			

【個人情報の取り扱いについて】

1 ご提供いただいております個人情報は以下の目的で使用いたします。同窓会が本来の目的とした活動をする場合、また必要と思われる作業を進行する際など合法的な目的のために活用する場合。(同窓会会報、総会通知、クラス会通知、支部会通知、周年募金・寄付活動・会費徴収の発送宛名及び各種リスト等)同窓会会員名簿の作成。
上記1の使用に当たっては、氏名、フリガナ、郵便番号、現住所、電話番号、勤務先名、勤務先電話番号を利用させていただきます。

2 個人データの第三者提供の制限

ご提供いただいております個人情報の内容は、本人の承諾なしに学校、同窓会関係者以外の第三者に開示、提供することはありません。ただし、以下のような場合は、例外として情報を開示できるものといたします。

法令の規定による場合

ご本人及び公衆の生命、健康、財産等の重大な利益を保護するために必要な場合

3 個人情報管理について

ご提供いただいております個人情報はデータ処理等の業務委託をお願いしております業者において機密保持に万全を尽くすことの確約を得ております。

4 個人情報の開示・訂正・削除について

個人情報は原則として本人に限り、開示・訂正・削除・利用の停止を求めることができます。個人情報の取扱に関する件で何か申し出がある場合は、同窓会(日本大学東北高等学校同窓会(アカシヤ会)へ左記のハガキ、もしくは下記ホームページよりご連絡ください。

ハガキでの返信もしくはホームページへの返信のなき場合には、承諾していただけたものとさせていただきます。ご了承いただけますようお願いいたします。

お問い合わせ

日本大学東北高等学校同窓会

郡山市田村町徳定字中河原 1

<http://www.nichidai-tohoku-dousoukai.com>



同窓会HP